

けあらいふ花咲館

| | | | |
|-------|-------------------------|---------|-----------------------|
| ■所在地 | 旭川市花咲町7丁目2407番地17 | ■木材使用量 | 390.79 m ³ |
| ■設置者 | 株式会社厚友会 | (うち地域材) | 363.99 m ³ |
| ■構造 | 木造2階建 | ■使用樹種 | トドマツ、カラマツ |
| ■延床面積 | 2,526.16 m ² | (内装) | スギ |



◆施設の概要

本施設は、木造2階建て準耐火構造による60室の住宅型有料老人ホームです。その中に地域住民との交流を促進する場として、誰でも利用することができる本格的な紅茶専門店やコミュニティーホールが設けられています。

◆工法等の特徴

木造在来工法を基本としていますが、梁材には鉄骨と木を一体化させた工法を採用し、高い構造耐力を確保しています。また、内装材における道産材の活用としては、喫茶店の壁は道産材を用いたカバ練付合板をモール材と組み合わせながら張ることでクラシカルな雰囲気をつくっています。コミュニティーホールの壁には道南杉の羽目板を全面に張っています。さらに食堂にはモザイクタイルとのコンビネーションによってデザインした羽目板を張っています。

◆整備に当たり苦慮したこと

木造準耐火構造であることから、木軸の構造体は全て石膏ボードにて覆うように計画し火災時の安全性を確保しています。意匠上木材を仕上げに採用することで、木材を意識出来るよう配慮しています。また、その木材の採用に関しては、他の材料との組み合わせを意識しながら、色彩や利用方法を吟味し、より洗練されたものとなるよう配慮しています。

◆利用者の声

老人ホームとは思えない、コンテンポラリーな外観と、ネオクラシックなインテリアによって元気が湧いてくるとのこと。